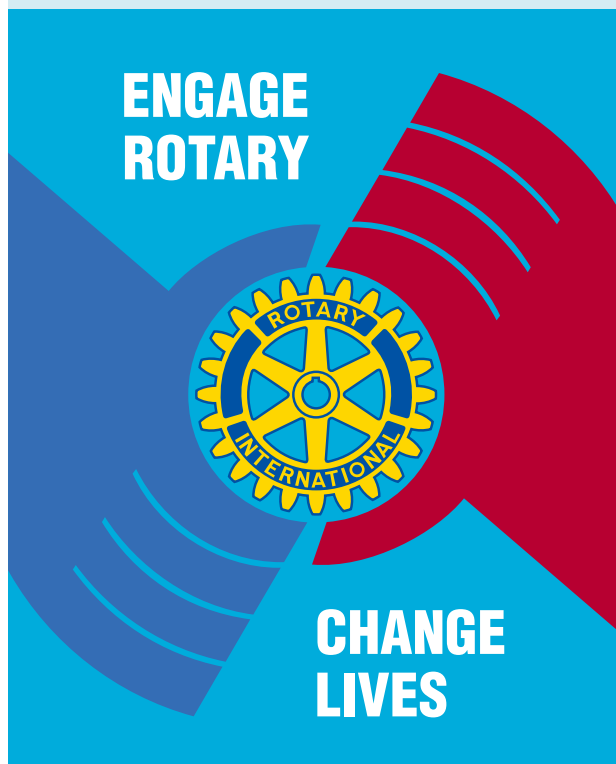


2013 – 2014
September
vol. 3

9



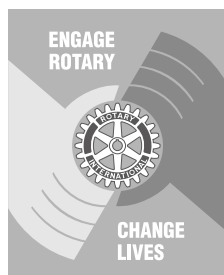
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信9月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014
**GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER**
September vol.3

CONTENTS

ガバナーメッセージ（青少年活動月間に当たって）	1
新世代のための月間に寄せて	2
意義ある業績賞について	3
クラブ広報委員長会議 報告	4
合同地区委員会 報告	5
世界平和フォーラム 参加報告	6
創立40周年記念式典 in 須賀川	8
ロータリー財団情報	9
災害支援プロジェクト報告（第27回）	10
2013年7月度 会員数・出席報告	11
文庫通信	12
敬弔／お知らせ	13

青少年活動月間に当たって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



2013年4月、米国イリノイ州シカゴにおいて規定審議会が開催され、当地区からは岩田宙造PGが代議員としてご出席下さいました。その規定審議会で、新世代奉仕部門は、かつての名称である青少年奉仕部門に変更されました。

ロータリーでは1908年から青少年を対象としたプログラムが実施されて来ました。そして1979年、国連の国際児童年に合わせてRIは「ロータリーは子どもを大切に」というスローガンを採択し、また「ロータリアンは青少年の模範」"Every Rotarian an Example to Youth"の標語を採択しました。

その後1996年度ルイス・ジアイRI会長は、青少年対策を最重点課題と考え、未来を担う新世代が何を望んでいるかを知るために、全世界のクラブが新世代会議を開催することを要請しました。この年度より従来の「青少年活動月間」の名称が「新世代のための月間」となりました。そして、それまで14才から30才までの若者を対象としたプログラムが、新世代のためのロータリー・プログラムでは、0才から14才の子ども達も視野にいった活動に拡大されました。

さらに2010年規定審議会で、新世代奉仕はロータリー・クラブの活動の土台となるクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に続く、第5の奉仕部門として承認され昨年度まで、新世代奉仕としての活動が続けられて来たのです。

では今後0才から13才を対象としたロータリーのプログラムはどうなるのでしょうか？RIやロータリー財団は、乳幼児と学童への奉仕活動については青少年育成とは異なった人道奉仕の一環として捉えて、未来の夢計画FVPの補助金を用いる形で実施しようと考えているようです。すなわちグローバル補助金で示されている6つの重点分野のうち、直接的には「母子の健康」「基本的教育と識字率の向上」「疾病予防と治療」などの分野で、乳幼児と学童のためのプログラムを立ち上げて行くということだと考えられます。もっとも当地区では青少年活動委員会が小学生高学年を対象とした少年

少女ニコニコキャンプが実施されています。

RIは年齢30才までの若い人すべてを含む青少年の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なものとするために青少年の生活力を高めることによって、彼らに将来への準備をさせること」をロータリアンの責務とし、すべてのクラブと地区は青少年の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励して来ました。基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己開発であり、国際ロータリーが用意する次の四つの常設プログラムで、これらを実践する必要があります。

- インターアクト(13才～18才)
- ローターアクト(18才～30才)
- ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)(14才～30才)
- ロータリー青少年交換(高校生)

私たちの2660地区でもこれらのプログラムは活発に実践されております。

更に、RIは児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的および精神的な虐待、とくに性的虐待あるいはハラスメントの防止に関する声明や指針を設け、その実践を勧めています。当地区では、不幸にもあってはならないトラブルに対応するために、危機管理委員会が設置され、危機管理積立金が用意されています。

日本には米山奨学金制度や米山学友会があり、米山奨学生や学友会メンバーとロータリアン、そして他の青少年プログラムの若い人々との活発な交流が望ましいと、私は考えております。そして、新しい世代の人々がロータリーについての知識を深め、近い将来ロータリアンになって頂けるように、私たちは努める必要があると考えます。

ロータリーの高齢化や会員減少に歯止めをかけることは今や非常に大切な課題となっています。若い世代の人々との交流には、ソーシャル・メディア・ネットワーク・システムが威力を発揮します。地区の広報委員会にも力をお借りして、このシステムが本格的に機能し始めることを願っております。

新世代のための月間に寄せて



パストガバナー

岡部泰鑑 (大阪城南RC)

9月は新世代青少年のための月間です。

各ロータリアンの責務は年齢30歳までの若い人すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来をもたらすための新世代の生活力を高めることによって、新世代に将来への準備をさせることである。すべてのクラブと地区は、新世代の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励されている。基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己開発である。新世代のためのR I常設プログラムには、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換がある。

(2010手続要覧 第10章 新世代奉仕 より)

年齢30歳までの青少年すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、より良い未来を確かなものとするために新世代の生活能力を高めることによって、新世代の将来への準備をさせることは、ロータリアン一人一人の責務である。すべてのクラブと地区は、健康、人間的価値、教育、自己開発といった新世代の基本的ニーズを支えるプロジェクトに取り組むよう奨励されている。

(ロータリー章典 新世代奉仕部門 より)

当地区としては、新世代青少年の健全な教育を目指して5つのプログラムが常設されています。

- ①ロータリー青少年交換
- ②ニコニコキャンプ
- ③インターアクト
- ④ローターアクト
- ⑤ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)

です。

永い歴史の中でロータリアンは、それぞれの地域で青少年の支援に力を注いできました。

R I戦略計画は5つの奉仕部門でバランスの取れた活動を行うことを目指しています。

その活動によっては、複数の部門に当てはまるものもありますが、新世代青少年奉仕は冒頭の手続要覧、ロータリー章典の引用部でも述べましたが、若者のためのロータリアンによる活動価値を認め、そうした活動をさらに広げるよう各クラブに奨励するものです。

その土台には「すべてのロータリアンには若い人々が抱えるさまざまなニーズを認識し、彼等の人間的・職業的成長を支援する責務がある」という考え方がありません。簡単に申し上げれば、すべての若者に色々なチャンスを我々が与えることです。

しかし、そのすばらしい活動の中で注意すべき点が多々あります。その一端として、手続要覧(P125から)に掲げられています。

- 青少年と接する際の行動規範に関する声明
- 虐待およびハラスメントの防止
- 青少年保護法の順守を怠った場合
- 青少年交換学生の国外旅行
- 新世代のための月間
- インターアクト
- ローターアクト
- ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)

以上のことが詳しく記されています。必ず一読下って、次の時代を担う若者たちが健全な社会人に、そして品位ある国際人に成長することをお手伝いし、我々も若者の模範となる常々の精神こそがロータリー人生と思います。

意義ある業績賞について

意義ある業績賞委員会 委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)



ロータリークラブの有意義で卓越したロータリー活動に対して、R I から「意義ある業績賞」が贈呈されます。そのために、各地区のガバナーは受賞クラブを選び、R I に選定を証明する手続きをとることになっています。地区レベルの競争であるため、また、その中から有意義なクラブ・プロジェクトを見極めるため、ガバナーが地区選考委員会を選出し、発表することが奨励されるとあります。本年度の第2660地区における選考基準及び手続きは次の通りです。(申請手続きについては2010年度「手続要覧」P105を参照)

■選考基準

本賞の受賞資格を有するのは、1つのクラブにより遂行された1件のクラブ・プロジェクトのみです。また、推薦できるのは、1地区につき1つのクラブのみです。既に意義ある業績賞を受賞したことのあるプロジェクトは、資格がありません。R I 意義ある業績賞に推薦するプロジェクトを選出する前に、以下の選考基準を満たしているかどうかをご確認ください。プロジェクトは以下を満たしていなければなりません。

- 地元地域社会の深刻な問題やニーズに取り組むものである (いかに意義あるものであっても、国際奉仕プロジェクトは本賞の受賞資格がありません)。
- 単なる金銭的奉仕ではなく、クラブ会員の大半または全員が、直接参加しているものである。
- クラブの規模、および利用可能な資源に釣り合ったものである。
- 地域社会におけるロータリーのイメージを向上させるものである。
- 他のロータリークラブの模範となりうるものである。
- 現在実施中、もしくは本賞が授与されるロータリー一年度中に完了するものである (ただし、現ロータリー一年度に開始されたものである必要はありません)。

■推奨推薦手続

以下は、意義ある業績賞を選考するにあたっての推奨選考手続です。

- 8月1日までに、本賞への応募の受理、および審査を行う地区選考委員会を地区ガバナーが選任し、告示する。地区ガバナーは、この委員会の職務上の委員となる。
- 地区ガバナーは、その月信で、選考基準(左記参照)と共に、この委員会に関する発表を行い、申請書を委員会委員長が受理する締切日を公示する。推薦書式は地区ガバナーから入手できるようにする。
- 地区選考委員会は、2月1日までに会合を開き、5つのプロジェクトまでを候補プロジェクトとして選び、これを3月1日までに届くよう地区ガバナーに提出する。
- 選考委員会が選んだ受賞候補プロジェクトの中から、地区ガバナーは地区選考委員会と協議の上、1つのプロジェクトを選定する。
- 地区ガバナーは、推薦するプロジェクトを、必要な書類と共に国際ロータリーに提出する。
- 提出締切日までに国際ロータリーが受理した推薦書式は、R I 選考委員会で審査される。締切日を過ぎて受理された推薦書式は、審査の対象とはならない。

当地区の本年度の「意義ある業績賞」の提出締切日は2014年1月31日(金)とします。

R I に提出後、正式決定されると認定状が送付されます。

その後、例年通りガバナーが地区大会でこの認定状を受賞クラブに贈呈して表彰いたします。

第1回 クラブ広報委員長会議 報告

広報委員会 委員長

岡村剛行 (大阪東RC)

去る、平成25年7月6日(土)午後2時より、本年度第1回広報委員長会議を、葉業年金会館にて開催しました。福家ガバナーをはじめ、ガバナー補佐の皆様、地区研修委員会の皆様、各クラブからは総勢80名ほどの広報委員長に出席いただきました。

本年度最初の土曜日であり、就任されたばかりの各クラブの広報委員長の皆様に、広報についてよく知って頂き、各クラブでの広報活動に活かして頂きたいというのが、本委員長会議の趣旨です。

まず、御来賓のご紹介の後、福家Gのご挨拶があり、その中で「感動の体験を!! 人々にも、自身にも」という地区方針に基づき、「広報活動」は、今年度の地区の5つの目標の1つでもあり、R1戦略計画の重点事項「公共イメージと認知度の向上」に関わるものであるということを強調されました。

次に、広報委員長である私より、今年度の広報委員会の活動について、ご紹介しました。内容の概略は、以下の通りです。

1. 各クラブの奉仕活動の紹介

- ①第2660地区ホームページを大幅改訂して、各クラブの奉仕活動をアップしやすくし、対外広報を活性化
- ②「ロータリーの友」地区代表委員と連携して、各クラブの奉仕活動の投稿を促進

2. クラブ広報委員長会議の開催

各クラブの広報体制の検討、意見募集



3. マスメディアを通じた広報

ラジオ番組・テレビCM

この中で、特に各クラブの奉仕活動を地区ホームページへアップすることと「ロータリーの友」へ積極的に投稿いただくことをお願いさせていただきました。地区ホームページにつきましては、私から、大幅改訂を行い、すでに対外コンテンツをトップページに掲載し、各クラブの奉仕活動を各クラブの広報委員長が直接アップできる仕組みを構築した旨をご説明いたしました。「ロータリーの友」については、鈴木代表委員から投稿促進についてご説明いただきました。

そして、その後は、ホームページを作成いただいたビジネスラボトリーの内田様よりホームページ改訂の趣旨、奉仕活動の具体的なアップ方法について、レクチャーいただきました。そして休憩の後「奉仕活動の広報促進策について」のテーマでIMごとに分かれてバズセッションを行いました。

最後に、高島PGにご講評頂くとともに、泉GEに閉会のご挨拶を頂き、第1回広報委員長会議を終了しました。皆様、長時間熱心にご参加頂き、ありがとうございました。

次回のクラブ広報委員長会議は2014年1月18日を予定しております。皆様の奉仕活動の広報促進状況について、成果を発表していただく場にしたいと考えております。第2660地区の広報の充実のため、皆様、1年間どうぞよろしくお願い致します。



2013-2014年度 合同地区委員会 報告

地区代表幹事

山田正雄 (八尾中央RC)

新しい年度がスタートし、地区委員会のメンバーが一堂に会する「合同地区委員会」が7月20日に大阪YMCA会館にて開催されました。

開会に際し、福家Gから各地区委員諸氏に、委員受任の御礼と、地区活動へのご協力のお願いと、今年度の地区活動がスムーズに実施されることを要望されました。そして、今年度のRIテーマ「Engage Rotary Change Lives ~ ローターリーを実践し、みんなに豊かな人生を」を語られました。そして地区方針として「感動の体験を!! 人々にも、自身にも~Participate~参加し、敢行しよう!!」と熱く語られました。

当日は、猛暑の中を14名のPG・泉GE、そして、AG・AGE全員にご出席いただきました。

災害支援プロジェクト委員長の高島直前Gから、今年度の活動方針について説明をいただき、前年度に引き続き支援への協力を訴えられました。

次に、地区会計の片岡委員長、G月信の吉本地区幹事、ロータリーの友地区代表委員の鈴木委員長から、説明と

お願いをさせていただき、吉村地区大会実行委員長から、2月21日・22日に開催されます地区大会のご案内とご参加のお願いをさせていただきました。

そして、今年度の地区委員会活動計画の発表と「地区チーム」としての意気込みを16名の委員長から発表していただきました。各委員会の活動計画をお互いに理解していただく機会になったことと思います。

地区代表幹事より、地区委員の皆様へ地区委員会の円滑な運営等についてのお願いを申し上げ、そして、大きく変動がありましたガバナー事務所のスタッフの紹介をいたしました。

最後に泉GEから、この合同委員会をこれからの地区活動に役立たせていただきたい旨の閉会御挨拶をいただき、すべてのプログラムを終了いたしました。

改めてご出席いただきました地区の役員、委員の皆様へ御礼申し上げ、地区活動にお力添えをいただきます様、お願い申し上げます。



2012-2013年度 世界平和フォーラム 参加報告

2012-2013年度
地区ローターアクト 幹事

高橋洋子

開催日時：2013年5月17日(金)~18日(土)

開催場所：広島国際会議場

ANAクラウンプラザホテル広島

主催：国際ロータリー

参加者：地区RA委員長 池田佳弘様
地区RA副委員長 永田大介様
地区RA委員 久保義誓様 丸尾照二様
RA地区役員7名、アクター22名、
ライラリアン(RA・OG)1名
(1日参加者、両日参加者含む)

2012-13年度の田中RI会長のテーマは 「奉仕を通じて平和を」

国際ロータリーはベルリン、ホノルル、広島の3都市で「2012-13ロータリー世界平和フォーラム」を開催し、平和について語り、未来のビジョンを考える、これからの未来への展望を考えることを目的として、また、ロータリアンや地域のリーダーとともに平和への決意を固めることを目的として行われました。

広島では、特に新世代に焦点を当て、ロータリアンとともに、平和への日常的な意識と行動に種火を点火し、次の時代に行動を引き継いでいく出発点とすることを目指し、新世代プログラムの参加者を交えて行われました。

ベルリン：国境のない平和 (Peace Without Borders)

ホノルル：平和にいたる緑の道

(The Green Path to Peace)

広島：平和はあなたからはじまる

(Peace Begins with You)

私たち一人ひとりが日々の生活や地域社会での活動で平和を推進することができるか、未来志向のこの会議では、一人ひとりが今後(何日、また何年にもわたり)どう貢献していけるかを、参加者に問いかけ、進行されていきました。

このフォーラムの中で、何度か出ていた言葉。『心が平

和でありますように』という言葉がとても印象的でした。すべての人たちの考えの中に平和を位置付け、日々作らないといけない平和、さまざまなプロセスを経ていく平和、心底から信じて平和を構築していく事が大切だというメッセージが伝えられました。

広島で開催された平和フォーラムでは、52カ国、約2,000名の参加者が集まり、盛大に開催されました。

開会式で、国際ロータリーの田中作次会長が「人の役に立つために何が出来るかを考え、世界を少しずつ平和にしていこう」と挨拶されました。

基調講演では「国連憲章の制定にはロータリー会員が携わった。力を合わせ、平和を実現したい」と話されていました。また、広島県知事、広島市長、中国新聞社社長が、世界平和のため広島が担うべき役割を話し合うパネルディスカッションも行われました。

2日目全体フォーラムでは「平和はあなたから始まる」ロータリアンだけでなく、外部のゲストからも多くの貴重な講演を聞くことができました。

閉会式では「ひろしま平和宣言」、国連とRIとの記念品授受そして国際RI会長 田中作次氏による講評で無事閉会となりました。

広島という地域から改めて平和ということを考え直し、このフォーラムを通じて、平和について考えるきっかけとなりました。各自何かを感じ取って帰った実り多き一日になったことと思います。

また、フォーラムを通じて、他地区、他国の新世代と交流することができました。

ここからは私が参加した部門について記載します。

1日目 プレフォーラムワークショップ

テーマ：宗教・文化・生活習慣は平和を阻むのか？

コーディネーター：片野淳彦氏(札幌大学非常勤講師)

私が参加させて頂いたセッションでは「小樽」にある公衆浴場で実際に起こった事件「小樽温泉入浴拒否問題」をもとに、浴場経営者・日本人利用者・ロシア人利用者の立場を踏まえ、「サークルプロセス」という手法を用いて、ワークショップを行いました。

サークルプロセスとは、北米の先住民の伝統的な手法

を模した話し合いの方法で、参加者は輪になって集まり、互いの声にじっくりと耳を傾け合い、話し合うためのもので、参加や発言はすべて任意で、強制されることがありません。

マイクを持つ人だけが話す権利を持っており、マイクを持っていない人は一切の発言の権利がなく、マイクを持つ人の話をしっかりと聞きます。セッションを通じて、異なる世代・異なる国籍の異なる考えを持つ方々と国籍や世代の壁を取り払い議論することで、世界を身近に感じる一方で、日本社会が国際化に向け、多くの問題を抱えている事を実感しました。

課題を解決するためには固定概念にとらわれるのではなく、変化を恐れず相手を理解し、理解してもらい、互いに歩み寄ることが重要だと強く認識しました。

やはりコミュニケーションが大切で、お互いに文化や生活習慣等を紹介して理解し合い、相手を尊重して接することが大切であるとの結論になりました。

2日目は、ポール・ハリス・ランチョンセミナーとして軽食を取りながら、交流する場が設けられていました。

2日目 ポール・ハリス・ランチョンミーティング 東日本大震災「絆」の部屋

東日本大震災後の東北のその後、ロータリーの支援について話を聞きました。

ミーティングでは瓦礫撤去がおわったところだという現在の東北の現状、ボランティアの数の著しい減少等の現状が報告され、このまま被災地が忘れ去られていくのではないかという不安と、これから震災の地域に何が必要かと言うことを議題として話し合われました。

海外の参加者の中には、今回の震災で親を失った子供達、特に兄弟が離ればなれになって生活していくことが忍びないと、その子供達を養子として迎え入れたいといった言葉や、心のケアという観点から、新世代をこの夏被災地に連れて行き、地域の子供たちと交流し、被災地の子供たちの心のケアを行いたいと言った提案が出されました。

途中、田中作次RI会長が入ってこられショートスピーチと多額の寄付がなされました。



創立40周年記念式典 in 須賀川

高槻東RC
2012-2013年度 幹事

上場俊哉

東日本大震災以降、当クラブは継続的な被災地救援・復興支援に関し、福島県須賀川RCを窓口として行ってまいりました。

いくつかのプロジェクトをする中、須賀川RCは創立50周年で、是非とも一緒に創立記念式典を須賀川の地にて合同でさせていただきたいと無謀なお願させていただき、2013年5月19日、石井会長の熱い思いで「同じ式典費用を支払うなら須賀川へ行こう！」と須賀川市において友好親善と復興支援の一環として当クラブ創立40周年記念式典を須賀川RCとロータリー史上初の合同開催をいたしました。

5月18日には112名参加で母畑温泉八幡屋にて前夜祭、翌19日にはベルクィーンズにて230名のご参加を頂き、盛大な合同創立記念式典を敢行いたしました。式典前には、当クラブと須賀川RCとの姉妹クラブ締結式、当クラブと台北南徳RCとの姉妹クラブ締結式も実施され、橋本・須賀川市長様、矢野R1第2660地区ガバナー補佐様(茨木東RC)、神山・郡山RC会長様、児

島・高槻RC会長様からご祝辞を頂き、厳かで、和やかで、全員が笑顔の記念式典・祝賀会であったことが印象的でした。

翌20日には18組で合同記念コンペが宇津峰CCで開催され、創立50周年の大越会長が50位、創立40周年の石井会長が40位と言うのも、神様のいたずらに感心させられました。

東日本大震災以降2年が経ち、大阪では既に風化が相当進行しているように思えますが、まだまだ福島では東日本大震災被害、福島原発被害から1日たりと目を背けることは出来ません。この現実を一人でも多くの方にお伝えするのもロータリアンの責務ではないかと思えます。

この記念式典の大成功は、ひとえに須賀川RCのメンバー皆様の温かいご理解と友情の賜物で、深く敬意を表し、また感謝いたします。同時に、姉妹クラブとなり今後の友好親善と復興支援に当クラブは、邁進していくことをお約束いたします。



2013-14年度 ロータリー財団情報

ロータリー財団委員長

溝畑正信 (東大阪東RC)

平素はロータリー財団に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度に引き続いて地区財団委員長を仰せつかっております。2013年7月より全世界で導入されましたロータリー財団の新補助金制度(未来の夢)、財団プログラムへの参加、寄付増進に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ロン D. バートン RI 会長のメッセージ

ロータリーは今、その歴史に残る変革の時期を迎えています。ポリオ撲滅がまた一歩実現に近づき、ロータリー史の一章が幕を閉じようとしているのと同時に、未来の夢の全面導入は、新たな一章の幕開けを告げるものです。

ロータリーの新しい補助金モデルは、ロータリーの強みをさらに高いレベルへと引き上げるものです。ロータリアンが最も効果的な方法で人々を支援すると同時に、奉仕の方法を柔軟に選ぶことができます。従来の奉仕の方法から大きく転換するため、すべてのロータリアンが変化の内容を理解し、その恩恵を受け、ロータリー財団のリソースを最大限に活用できるよう支援することが、皆さまロータリー・リーダーの責務の一つとなります。

李 東建 2013-14年度ロータリー財団管理委員長は財団目標を、①ポリオ撲滅を撲滅し、ポリオのない世界という夢をかたちにする。②新しい補助金モデルの導入を成功させ、画期的な未来の夢計画を全世界で実施する。③より公平で平和な世界を築くため、革新的なプロジェクトと創造的なパートナーシップに参加する。④年次基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金を支援して、ロータリー財団が自分たちの財団であるという自覚と誇りを築く。"としており、この目標の達成を目指しましょう。

寄付と認証

ポール・ハリス・ソサエティは、毎年1,000ドルを年次基金、ポリオ・プラス、財団が承認した補助金に個人として寄付するロータリアンやロータリー財団の支援者を認証するプログラムです。管理委員会が2013年7月からロータリー財団の公式認証プログラムになることを決定しました。2013-14年度地区ガバナーは、この認証プログラム推進のため新たに地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーターを任命しました。ご協力よろしくようお願い申し上げます。

ポリオ・プラス

ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、リスボンで開催されたロータリー国際大会において、ポリオ撲滅活動を支援するパートナーシップの拡大を発表しました。この新しいパートナーシップでは、2018年までの5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せすることとな

ります(年間3,500万ドルまで)。これにより、最高で5億ドル(約500億円)の資金確保も可能となります。

【ポリオ症例数】2013年7月30日現在のポリオ症例数です。

	2013年1月1日~7月30日	2012年
アフガニスタン	3	37
パキスタン	22	58
ナイジェリア	40	122
ポリオ常在国以外	105	6
世界合計	170	223

2013年7月30日現在のポリオ症例数です。現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。

ソマリアとケニアで野生種のポリオの発生が確認されたため、両国と隣国では感染の拡大を防ぐため大規模な予防活動がおこなわれるなどの緊急の措置が取られています。

ロータリー財団地域セミナー (Zone 1.2.3)

7月2日(火)、東京で「ロータリー財団地域セミナー」が開催され、全国から約300名が参加しました。今回のセミナーでは、規定審議会や広島平和フォーラムの報告、ポリオの現状、新しく発行されることになったロータリービジネスカードの概要、また、国際基督教大学で学んでいるロータリー平和フェローが作成したビデオの上映など多岐にわたるものとなりました。

第2570地区推薦の第8期ロータリー平和フェローで、パレスチナ紛争地域において活動している金子由佳さんは、ロータリー平和センタープログラムについて「様々な国、立場で国際協力に従事していた人達がロータリー平和フェローの名のもとに集まり、勉強や活動を通じて交流することで、卒業後の実践的なネットワークの構築につながります。個々のフェロー達が、ネットワークで結ばれることにより、平和構築関連事業における適材適所のアプローチ、包括的視点に基づくアプローチが可能となります。」と述べ、このプログラムへの支援について深い感謝の言葉を伝えました。

ロータリーカード

ロータリーカードに「ビジネスカード」が誕生しました。これにより「ゴールド」と「スタンダード」を加えた合計3種類のロータリーカードから目的に応じた利用方法をお選び頂けます。法人代表者向けのビジネスカードは最大20枚までの発行が可能となり、利用可能額も発行カード毎に設定できます。利用金額の0.5%と年会費3,150円(税込)のうち1,500円が自動的にロータリー財団に寄付されます。ビジネスカードを利用して会社の経費を決済するたびにロータリー財団へも貢献することができます。新規入会者1名(メンバー会員含む)につき、1,000円が地区の年次基金となります。是非「ビジネスカード」をお申込みください。

災害支援プロジェクト報告 (第27回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2013年8月19日現在)

【収 入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備 考
1	前年度からの繰越	1,211,870	
2	大阪RC	100,000	インド支援金
3	大東中央RC	20,000	インド支援金
4	香里園RC	10,000	インド支援金
5	大阪帝塚山RC	9,764	募金箱寄付(基金)
6	門真RC	27,000	インド支援金
7	大阪フレンドRC	30,000	インド支援金
8	守ロイブニングRC	28,000	インド支援金
9	八尾中央RC	50,000	基金
10	大阪うつぼRC	27,200	インド支援金
11	東大阪東RC	100,000	基金
12	大阪難波RC	59,060	基金
13	東大阪東RC	34,000	インド支援金
14	利息	4	
15	大阪南西RC	30,000	基金
16	東大阪みどりRC	60,000	基金
17	交野RC	50,000	基金
	合 計	1,846,898	

【残 高】

(単位:円)

預金残高	1,846,898	2013年 8月19日現在
------	-----------	---------------

※ 前月報告時残高(1,202,890円)以降に、下記出入金がありました。

- ① 大阪城南RCより 11,480円 入金(基金)
- ② 利息 200円 入金
- ③ 口座管理手数料 2,100円 出金
- ④ 次年度口座への振替手数料 600円 出金

よって、前年度からの繰越額は 1,211,870円となります。

2013年7月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初	7月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
		会員数	全員	女性						
I M 第1組	池田	37	37	2	0	0	0	5	73.17	69.71
	池田くれは	28	28	1	0	0	0	4	87.44	86.30
	箕面	25	25	1	0	0	0	4	88.25	81.10
	箕面千里中央	21	21	0	0	0	0	4	82.90	79.78
	豊中	45	46	4	1	0	1	4	84.16	72.76
	豊中南	28	29	2	1	0	1	4	81.65	78.51
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	0	0	0	4	69.74	67.11
	豊中千里	39	39	3	0	0	0	4	76.92	74.89
	小計	243	245	13	2	0	2		80.53	76.27
	I M 第2組	茨木	25	25	3	0	0	0	5	94.14
茨木東		39	41	4	2	0	2	4	83.69	73.89
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	92.86	83.04
千里		38	38	0	0	0	0	4	88.81	81.80
千里メイプル		22	22	2	0	0	0	4	94.05	88.10
摂津		37	37	2	0	0	0	4	92.54	75.85
吹田		60	62	10	2	0	2	4	94.76	88.26
吹田江坂		34	34	2	0	0	0	4	96.75	88.66
吹田西		47	47	2	0	0	0	4	100.00	89.40
高槻		51	51	6	0	0	0	4	89.81	85.72
高槻東	36	36	1	0	0	0	4	96.95	91.87	
高槻西	20	20	0	0	0	0	4	97.50	86.25	
小計	437	441	38	4	0	4		93.49	85.00	
I M 第3組	大東	42	42	0	0	0	0	5	99.50	94.52
	大東中央	28	28	11	0	0	0	5	75.01	70.36
	枚方	40	42	0	2	0	2	5	82.61	77.75
	門真	30	32	6	3	1	2	4	83.60	75.00
	交野	32	32	1	0	0	0	4	84.73	77.52
	香里園	15	15	0	0	0	0	4	90.00	83.34
	くずは	52	53	0	1	0	1	5	75.71	72.00
	守口	42	42	4	0	0	0	4	89.53	81.45
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	91.67	82.41
	寝屋川	42	42	5	0	0	0	4	99.41	84.52
四條畷	12	12	0	0	0	0	4	95.46	95.46	
小計	362	367	31	6	1	5		87.93	81.30	
I M 第4組	東大阪	70	71	0	1	0	1	4	92.84	82.56
	東大阪中央	33	33	0	0	0	0	4	91.31	91.31
	東大阪東	55	55	3	0	0	0	4	93.93	82.74
	東大阪みどり	30	30	1	0	0	0	4	88.33	73.33
	東大阪西	31	31	0	0	0	0	4	97.14	75.98
	大阪柏原	30	30	2	0	0	0	5	84.83	80.56
	大阪ネクスト	19	19	8	0	0	0	4	67.10	50.00
	八尾	60	60	0	1	1	0	5	80.22	79.48
	八尾中央	16	17	1	1	0	1	5	89.98	87.63
	八尾東	26	26	1	0	0	0	4	75.00	64.87
小計	370	372	16	3	1	2		86.07	76.85	

I M 組	クラブ名	7月期初	7月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
		会員数	全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	49	5	3	0	3	4	93.37	77.19
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	4	88.79	81.03
	大阪北	197	197	0	0	0	0	5	77.99	66.55
	大阪北梅田	50	50	3	0	0	0	4	77.16	69.04
	大阪西	75	75	0	0	0	0	4	89.01	85.02
	大阪大淀	36	36	0	0	0	0	4	93.28	79.85
	大阪リバーサイド	34	36	7	2	0	2	4	96.15	80.73
	大阪西北	49	51	0	2	0	2	4	91.37	84.19
	大阪そねざき	35	35	22	0	0	0	5	97.65	85.92
	大阪梅田	25	24	1	0	1	-1	4	82.05	72.06
大阪梅田東	25	27	0	2	0	2	4	96.96	70.71	
大阪ユニバーサルシティ	32	32	5	0	0	0	4	90.83	82.50	
小計	632	642	44	11	1	10		89.55	77.90	
I M 第6組	大阪	257	259	1	2	0	2	4	75.19	61.13
	大阪東	117	116	0	1	2	-1	4	93.25	77.42
	大阪東淀ちゃやまち	30	30	3	0	0	0	4	77.27	72.73
	大阪城東	43	43	5	0	0	0	4	93.20	86.94
	大阪中之島	27	27	1	0	0	0	4	90.73	76.84
	大阪大手前	35	36	4	1	0	1	4	84.85	78.72
	大阪城北	49	49	3	0	0	0	5	80.26	78.52
	大阪天満橋	68	68	0	1	1	0	4	84.61	80.50
	大阪鶴見	32	32	0	0	0	0	5	88.46	84.61
	大阪淀川	28	28	3	1	1	0	4	94.47	84.88
新大阪	32	34	1	2	0	2	4	91.18	87.50	
小計	718	722	21	8	4	4		86.68	79.07	
I M 第7組	大阪フレンド	25	25	3	0	0	0	5	94.37	71.63
	大阪御堂筋本町	61	61	4	0	0	0	4	84.71	79.43
	大阪南	144	151	0	7	0	7	5	88.89	76.31
	大阪難波	46	46	0	0	0	0	4	94.79	85.54
	大阪なにわ	25	26	3	1	0	1	4	93.83	86.74
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	83.50	83.50
	大阪西南	98	98	19	0	0	0	4	94.50	75.92
	大阪船場	39	39	0	0	0	0	4	91.00	83.75
	大阪心斎橋	33	33	0	0	0	0	4	96.21	86.93
	大阪うつぼ	33	34	4	1	0	1	5	94.49	82.00
小計	519	528	36	9	0	9		91.63	81.18	
I M 第8組	大阪平野	32	32	3	0	0	0	4	100.00	87.06
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	3	88.10	71.43
	大阪城南	53	55	0	2	0	2	4	100.00	90.77
	大阪咲洲	18	18	1	0	0	0	5	86.66	76.66
	大阪天王寺	56	57	0	1	0	1	4	88.99	81.37
	大阪帝塚山	53	55	4	2	0	2	5	76.09	73.44
	大阪東南	50	50	0	0	0	0	5	94.00	64.80
	大阪アーバン	23	23	7	0	0	0	4	76.09	75.00
	大阪みおつくし	34	34	17	0	0	0	4	66.92	65.44
	小計	333	338	35	5	0	5		86.32	76.22

合計	クラブ名	7月期初 会員数	月末会員 数	女性 会員	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3655	234	48	7	41	87.8	79.2

文庫通信 (311号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演他より

- 「ロータリーの奉仕と平和」
朴柱寅 2012 9p (D.2790 地区大会記念誌)
- 「国際ロータリー長期計画について」
南園義一 2013 7p (『ロータリーの友』と共に)
- 「国際ロータリー 2013年規定審議会提出立法案採決結果一覧表」
加藤玄静 2013 13p (国際ロータリー 2013年規定審議会報告書)
- 「会員増強をうながす職業奉仕」
田中毅 2013 11p (D.2680 地区研修セミナー講演集)
- 「国際情勢とロータリーの役割」
羽賀友信 2013 2p (D.2560 地区大会記録)
- 「ロータリーは宗教か」
進保政 2013 2p (D.2720月信)
- 「初期ロータリー外史」
鈴木宏 2013 12p (D.2550 月信)
- 「『素晴らしいロータリーへの再生』のために『クラブの活性化』を」
山下皓三 2013 3p (D.2730 月信)
- 「再びロータリーとは」
石丸鐵太郎 2013 2p (D.2680 月信)

[以上申込先：ロータリー文庫]

- 「DVD/国際ロータリーの進化とその原点～家庭集会(炉辺会合)の一助に」
講師：重田政信 高崎北RC 2013

[申込先：高崎北RC TEL (027) 330-6060]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

谷 口 俊 文 会 員 (八 尾 R C)

2013年 7月20日 逝去 (享年73歳)

理事、国際奉仕委員長、

米山功労者

ポール・ハリス・フェロー

中 塚 一 郎 会 員 (門 真 R C)

2013年 7月29日 逝去 (享年83歳)

会長、幹事、社会奉仕委員長、

国際奉仕委員長、30周年記念事業委員長 他

ポール・ハリス・フェロー

山 浦 荘 平 会 員 (大 阪 北 R C)

2013年 8月10日 逝去 (享年82歳)

副会長、友好委員長、SAA、

ロータリー財団委員長、プログラム委員長

米山功労者 (マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■ ホームページ開設

東大阪みどりロータリークラブ

<http://www.george24.com/~midorirc/>

■ メールアドレス変更

寝屋川ロータリークラブ

jimukyoku@neyagawa-rc.net

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

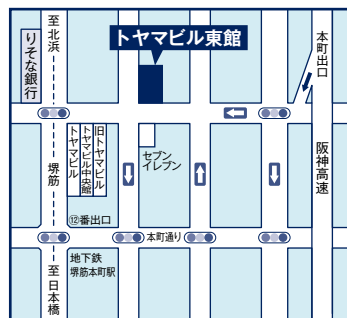
●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日

年末年始
2013年12月28日(土)~
2014年1月5日(日)



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp